

グローバルヘルスにおける 政策評価と情報の共有に関する I T 活用の可能性： モンゴルにおける事例から

国立成育医療研究センター

森 臨太郎

モンゴルにおける母子健康手帳の評価研究

- 2007年度にモンゴル国保健省等と協議し、母子健康手帳評価を検討
- 2008-2010年度にボルガン県のすべての村を割り付け、前期導入群と後期導入群に分け、妊婦健診をアウトカムとしてクラスターランダム化比較試験（住む場所に関係なく家庭の経済状況がよければ、効果大）
- 2011-2012年度はフォローアップとして、モンゴルにおける神経学的発達予後検査を開発し、3歳予後と、出産後の女性の身体的・精神的健康の調査を施行

モンゴル母子健康手帳



- 日本の母子健康手帳をベースにモンゴル国保健省により作成
- 成長曲線、予防接種などが異なる
- 二日間のワークショップにより使い方の習得
- 初回妊婦健診時に家庭医が渡す



ボルガン県

面積 48,733.00 KM² (九州より少し大きめ)

人口 58,834人 (世田谷区砧地区より少ない)



人口数千人規模の村があり、
村の病院は入院も可能
2-4人の家庭医が勤務して
その村の住民をすべて把握

方法

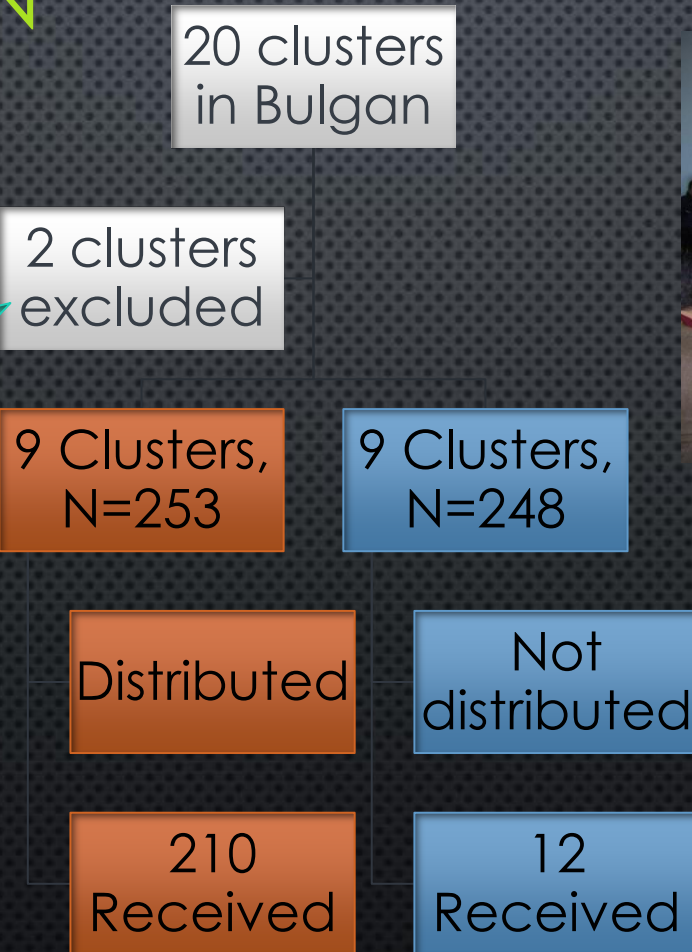


- TRIAL REGISTRATION: UMIN000001748
- STUDY TYPE
 - CLUSTER RCT, SOUMS/BAGS AS CLUSTERS
- STUDY POPULATION
 - ALL THE PREGNANT WOMEN RESIDING IN THE BULGAN AIMAG
- INTERVENTION
 - DISTRIBUTION OF MCH HANDBOOKS AT THE FIRST ANTENATAL VISIT
- COMPARATOR
 - DISTRIBUTION OF MCH HANDBOOKS AT THE END OF THE STUDY
- OUTCOMES
 - ANTENATAL CARE VISITS > 6 (NATIONAL STANDARD); NUMBER OF ANTENATAL VISITS; PERCEPTION AND KNOWLEDGE ON MCH HANDBOOK: CLINICAL OUTCOMES; EPS/GHQ



RANDOMISATION

One soum as a piloting area and another Bug contaminated with another project

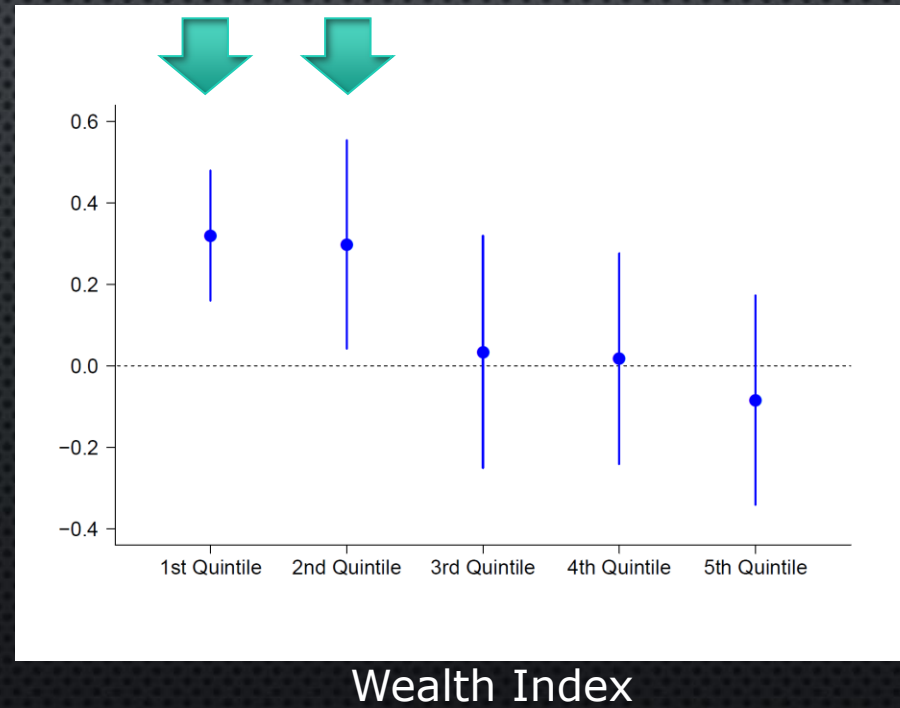


BASELINE CHARACTERISTICS

Pregnancy of the woman		Intervention N=253	Control N=248	P-value
First pregnancy	n(%)	82 (32.41)	77 (31.05)	0.743
Number of pregnancies	mean (SD)	2.49 (1.37)	2.32 (1.24)	0.154
Previous pregnancy				
Live birth	Mean	1.42 (1.35)	1.29 (1.19)	0.229
Abortion	(SD)	0.11 (0.41)	0.09 (0.43)	0.556
Miscarriage		0.11 (0.39)	0.07 (0.32)	0.233
Adoption		0.00 (0.00)	0.02 (0.16)	0.099
Pre-pregnancy weight	Mean(SD)	61.10 (9.02)	60.15 (8.76)	0.237
First ANC visit weight	Mean(SD)	63.13 (9.20)	61.88 (9.19)	0.132
Marital status, Married	N(%)	238 (94.1)	236 (95.2)	0.590
Mother's Age	Mean(SD)	27.3 (6.13)	27.7 (5.67)	0.390
Mother's Education under elementary	N(%)	24 (9.49)	26 (10.48)	0.947
Number of family	Mean(SD)	4.332 (1.23)	4.185 (1.196)	0.177

PRIMARY OUTCOME RISK DIFFERENCE BY SES

Risk Difference



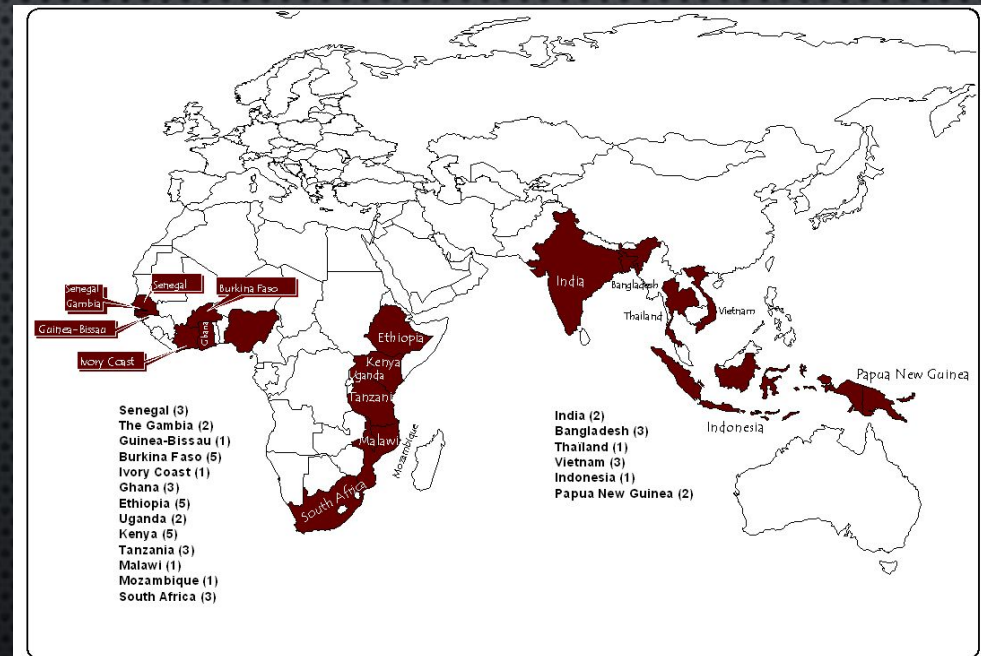
出生コホート研究

- 母子健康手帳の研究はそのもので、ボルガン県に住むすべての妊産婦を登録して経過観察していることに
- 現在はほぼすべてが母子健康手帳を持っている
- 社会保障番号を持っているため医療データとの突合が可能
- 私的診療は存在せず、県内の医療機関は、県病院と村病院のほか、近隣のエルデネット病院とウランバートルの高次医療施設

HDSS

- HEALTH AND DEMOGRAPHIC SURVEILLANCE SYSTEM (HDSS:ここでは、仮に「人口登録・動態追跡調査システム」と訳する)とは、住民登録や人口の動態（婚姻、出生、死亡、移動）を把握する仕組みのない「ある限られた地域」において、住民登録を行い、その動向を系統的かつ継続的に行う仕組み
- INDEPTH NETWORK（世界にある48のHDSSサイトのネットワーク、新しい政策評価のためのフィールドを提供して資金を得ている）

INDEPTH NETWORK



グローバルヘルスの政策評価と情報共有

- すでに紙媒体として確立された手法である母子健康手帳をベースに電子化を行うことで、政策評価と情報共有のモデルとなりうる